

“新しい公共支援事業” の説明資料

～今、内閣府で考えていることをより知って頂くために～



(更新 平成22年10月5日)

事業の目的

古くからの日本の地域や民間の中にあつた人々の支え合いと活気のある社会である「公共」を、現代にふさわしい形で再編集し、人や地域の絆を作り直すことが求められています。

寄附税制の刷新等、NPO等を取り巻く環境が大きく変わっていく中で、NPO等の自立的活動を後押しし、行政が独占してきた「公(おおやけ)」を市民、NPO、企業等を開いた「新しい公共」を定着させることを目的といたします。

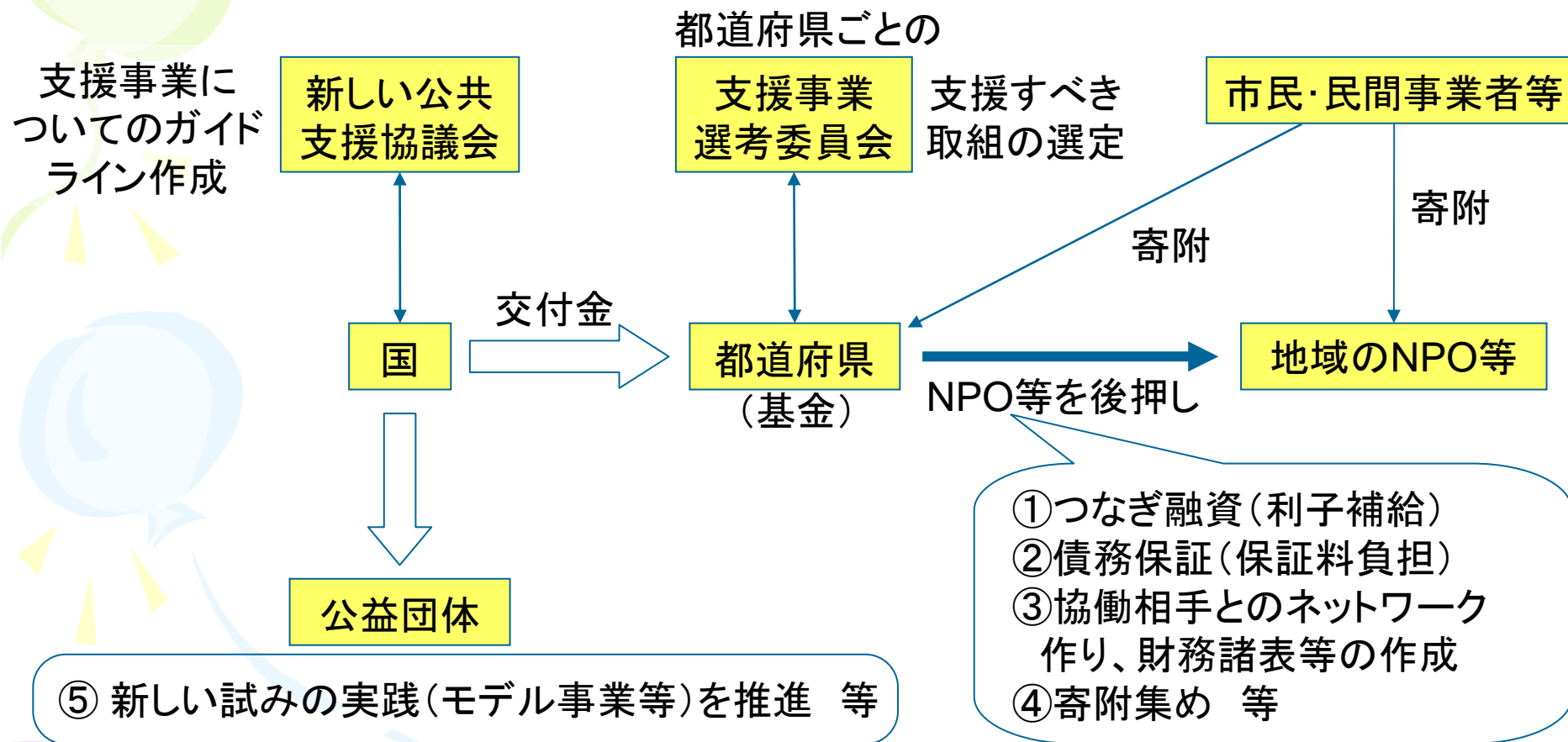
事業内容

各都道府県等に支援事業費を交付し、新しい公共の担い手（NPO等）に対して以下を実施します。

- ①行政の業務委託の際のつなぎ融資における利子補給（地域金融からの融資利用の促進等）
- ②債務保証における保証料負担（地域金融からの融資利用の促進 等）
- ③活動基盤整備支援（事業・活動のPR方法の指導、財務諸表の作成指導、協働相手とのネットワークづくり 等）
- ④公益性の高い事業を実施するための寄附の募集等への支援（寄附集めのノウハウ提供、実務者による指導 等）
- ⑤多様な担い手による協働を推進するモデル事業への財政支援（新しい試みの実践を推進）
等

新しい公共支援事業の基本スキーム

～本事業は地域で寄附を集める組織等と協調・連携します～



※本事業による政府の支援は制度が定着するまでの暫定的な対応とします。

政府による財政支援に依存しない自立的な活動
「新しい公共」の定着／地域における雇用や参加の場の拡大

事業のポイント、効果

●官民協働による事業の推進

支援事業の選定などを行う都道府県毎の「支援事業選考委員会」は、市民、NPO、企業等、民を主体としたメンバー構成とします。

●透明性等の確保

支援事業の選定過程は、可能な限りフルオープンとし、透明性・公平性を確保します。支援を受けるNPO等の活動についても、事業の執行から成果に至るまで、適宜報告を求め、情報公開の徹底により、地域住民等による監視と評価を受けるようにします。

●行政はNPO等の活動を後押し

本事業は制度が定着するまでの暫定的な対応とします。その間、政府は、本事業によりNPO等を財政面で直接的に支援をするのではなく、自立的活動を円滑に進められるよう、側面から支援をします。

●事業の効果

創出される「新しい公共」の資金循環(直接的な需要創出効果のみ)は、約1,300億円

創出される「新しい公共」の担い手における雇用は、約1.6万人

NPOの一般会員相当まで広げた参加者の創出効果は、約29万人

「新しい公共」の発展のイメージ

社会の変化

寄附税制の刷新等、NPO等を取り巻く環境が今後大きく変わっていくことが予想されます。

そして、人々が、人の役に立ちたいという気持ちで、自らNPO等の活動に関心を寄せ、参加し、寄附をし、身近なことから、より積極的に活動するようになります。そして、「お上依存」から、自ら当事者として選択できるようになります。

このような社会の変化の中で、NPO、企業等の多様な主体も、その社会的責任を果たし、人々の期待に応えることが求められています。



支援する仕組み



初期のきっかけ、活動の後押し
新しい公共支援事業
 (『支援事業選考委員会』における支援決定、都道府県等からの側面支援)

企業の社会的責任



NPO等のPR
 財務諸表の公開

地域コミュニティ



ネットワーク



寄附



新しい公共の 取り組みの広がり

市民、NPO、企業等の参画
 (寄附の拡大、資金調達の円滑化、活動基盤整備、モデル事業の実践)



資金調達



モデル事業



新しい公共の芽



ネットワーク

『新しい公共』... (略) 市民団体、企業、政府等が一定のルールとそれぞれの役割をもって当事者として参加し、協働する場。(略)政府が独占してきた領域を「新しい公共」に開き、国民の選択肢を増やすことが必要。(略)
 (6/4 「新しい公共」宣言より)

“新しい公共支援事業”がめざすもの ①

「新しい公共」の担い手としてがんばる
NPO等

地域が求める「新しい公共」の担い手を選考する委員会

OK!
あなた方
(担い手)を
支援します

「公」を多様な主体が担う社会

- ・ 地域の人から認められる
- ・ 仲間の輪が広がる
- ・ もっと地域のニーズに応えられる
- ・ 資金調達がし易くなる
- ・ きめ細かいサービスが提供できる

自主的な活動へ

行政の後押し

《NPO等のニーズ》

- ・ 人の役に立ちたい
- ・ 資金を借りたい
- ・ 寄附を集めたい
- ・ 仲間を増やしたい
- ・ 金融機関や行政にも信用してもらいたい

《担い手が支援事業から受けられるサービス※》

- ① 融資や債務保証を金融機関や保証会社から受ける際、バックアップ
- ② 利子を負担してくれる、保証料を下げしてくれる
- ③ 協働するパートナー(他のNPO、企業、グループ等)を紹介してくれる
- ④ 担い手のことや事業内容を分かりやすくPRする方法を教えてくれる
- ⑤ 寄附募集に協力してくれる 等

※「新しい公共」の担い手が行う一定の要件を満たした公益性の高い事業に限る。

“新しい公共支援事業”がめざすもの ②

寄附して社会に
貢献したい地元
企業オーナー



地域が求める「新しい
公共」の担い手を選
考する委員会



支援する
担い手を
決めました

透明化・可視可

「公」の担い手を
応援できる社会

- ・気軽に寄附が出来て、しかも確実に人の役にたっている実感が得られる
- ・寄附の使われ方が確認できる
- ・寄附を受けた担い手がますますがんばっていることを確認できる

《地元企業のニーズ》

- ・地域の人々の輪の中に入っていきたい
- ・地域の役にたちたい

《市民の思い》

- ・がんばっている地域の人達のためにお金を使いたい
- ・せっかくのお金を地域のみんなのために役立てたい

寄附の意向が
ある市民



《寄附者が支援事業から受けられるサービス*》

- ① 信用のおける複数の“担い手”や“事業”の中から寄附する先を選べる
- ② 寄附の届け先としてリクエストした“担い手”や“事業”に寄附が届けられる
- ③ 寄附した事業のその後の活動を知ることができる
- ④ 寄附した事業のサービス利用者の声を知ることができる等

※「新しい公共」の担い手が行う一定の要件を満たした公益性の高い事業に限る。

皆様へのお願い

この事業についての皆様からの意見や提案があればお聞かせください。よりよい事業の実施に活かしていきたいと考えております。

何卒、宜しくお願い致します。

